



◆【ビュー機能】の紹介と解説その②

- 今回は、【ビュー機能】の紹介とご説明その②をお送りいたします。
- ビュー機能の持つ様々な機能と活用方法をご紹介します。是非お試しください！

Q：ビュー機能を応用して出来る事が知りたい

【ビュー機能とは】

ビューとは、一つのプロジェクトの状態を複数の側面（例えば、作業別⇔場所別⇔業者別 など）から確認するための表示形式の事です。

参考：http://kouteizu.webi.co.jp/support/pdf/ktz1point_vol61.pdf

今回は、基本の使い方の一歩先「ビュー機能の活用」をご紹介します！

★ ビュー機能の使い方【基礎編】は上記 URL（前号メルマガ）をご覧ください

A. 「ビュー機能の応用」をご紹介します！

応用その①.ビューごとにバーの表示項目を変える

バーレイアウトの表示項目（名称、期間、資源など）は、**ビューごとに個別で設定**する事が出来ます。これを利用する事で、それぞれのビューで**特定の作業がどこに所属する物なのか**、一目で判別出来ます！

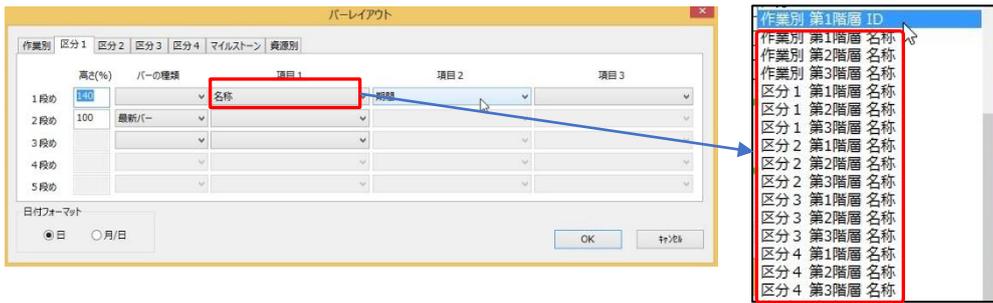
【バーレイアウト】設定画面

バーレイアウト設定画面で、ビューの切替が出来ます。

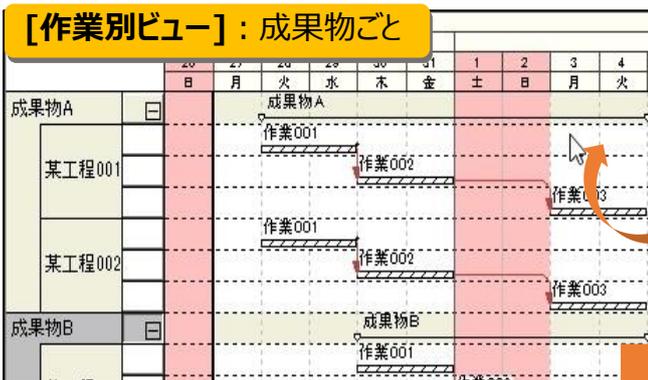
表示項目は、ビューごとに設定出来ます。

◆利用例：【バーレイアウト表示項目をビューごとに変える】

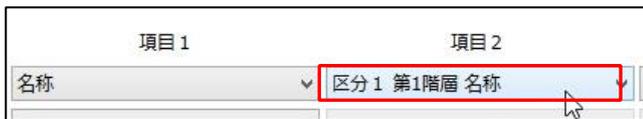
[バーレイアウト]設定項目に、[作業別～区分 4]の[階層名称]を選択する事ができます。



これを使う事で、同じ名称の作業バーが複数あった時など、**ビュー切替後の工程表がより見やすくなります。**



同じ名称のバーが多数あり、**工区ごとに表示すると見難い箇所多数！！**



[作業別]ビューでは、名称横に**[区分 1]の第一階層名称**を表示するように設定します。



[区分 1]ビューでは、名称横に**[作業別]の第一階層名称**を表示するように設定します。



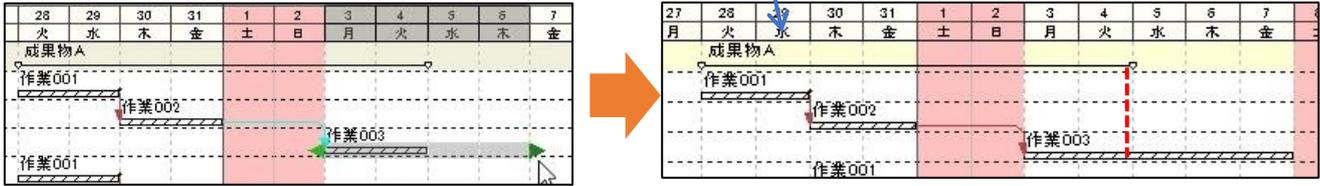
このように、**ビューごとの表示項目を上手く工夫**する事によって、**工程表の見やすさがグンと向上します！！**

応用その②. ビューごとにグループバーの[自動更新]を無効にする

[自動更新]  を有効にすると、**グループバーの長さ**が配下の**最新バー**に合わせて自動更新します。

実はこの[自動更新]、**ビューごとに有効/無効の切替え**が可能な事をご存知でしたでしょうか。

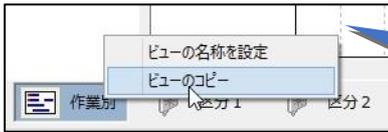
[自動更新]を無効にした状態で最新バーを変更すると、**このようにグループバーと最新バーの長さが不ぞろいになります。**



※[自動更新]を無効にすると、**グループバーも最新バー同様マウスで期間を変更できる**ようになります。

応用その③. ビューをコピーする

ビューの内容（グループ階層、マイルストーンなど）は、他のビューへそっくりそのままコピーする事が出来ます。

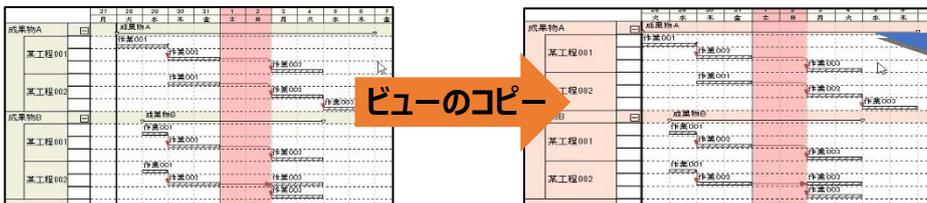


注意！ : 「バーレイアウト」設定内容はビューごとに設定します。

◆ 小技コーナー：「応用②と③を組み合わせて進捗確認用ビューを作ってみる」

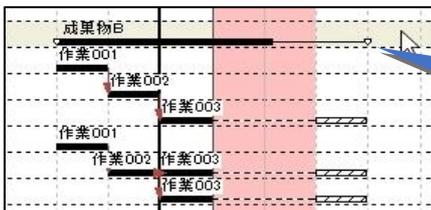
応用その②と③を組み合わせる事によって、グループバーを計画バーのように使う事が出来ます。

① 工程表が完成したら、余っている区分ビューへ「ビューのコピー」を実行します。
コピー先ビューの「自動更新」を無効にします。



コピー先ビューの「自動更新」は OFF！

② 作業別ビュー（コピー元）で工程表の更新（作業バーの変更など）を行います。
こちらのビューでは「自動更新」は有効なので、**グループバーは作業バーと連動します。**



グループバーは最新バーと同期します

③ ここで、先ほどコピーしておいた「自動更新」を無効にしたビューへ切り替えます。
このビューでは、**グループバーは更新されていないため当初計画の日付を保持**しています。
これにより、**当初計画に対する進捗状況**を確認する事が出来るのです！



変更前の日程計画に対する進捗度を見る事が可能です。